

集落支援員 3 ヶ月活動報告

中部地区集落支援員 黒澤哲人

何も解らないまま入り込んだ集落支援員、本当に教科書の無い活動でした。

初めに取り組んだのは、**地域を知ろう!**

萩生に住む私は中、黒沢を殆んど知りませんでした。(後で気付いたのですが、実際萩生の事も殆んど解っていなかったんです。)・・・お恥ずかしい次第です。

集落毎に区切り、空家を調べ、高齢者の住まいを聞きまわりました。3週間が過ぎた頃、ある情報が入って来ました。

「おらんだのどさ、来てける！」

声を掛けられたのは、あるサークルの代表の方でした。翌日から私のサロンめぐりの開始です。「何でもいいから、喋ってみどごえ」と言いながら十数か所のサロンを回り、色々なお話を頂きました。空家、犬猫問題、etc. そんな中、ある分館で

「なにが(災害)起きだどぎ、おらんだどごさ逃げっといいなや？」見てみると、その分館には避難所の表示がありませんでした。更にまた、その地区には自主防災組織も殆んど無く(9地区の内、1地区のみ有り)・・・

「そうだ!自主防災組織を作ろう。」と思いつきました。でもこれは先走り!

集落支援員はその機会を作る場に回るんだ。教育長講話での話を思い出しました。

私はよく自分で何でもやろうと取り組みがちです。一呼吸置きながら進めて行きたいと思えます。

また、大阪北部で起きた地震。ブロック塀が幼い命を亡くしてしまいましたね。

私たち集落支援員5人は翌日(20日)から各小学校の通学路のブロック塀調査を行いました。残念ながら数箇所、注意を要する所があり報告させて頂きました。

皆様のご自宅のブロック塀、開けっ放しの用水路の枡蓋、その他の危険箇所等の確認を再度お願いします。通学路に限らず自宅付近を点検してみてください。

集落支援員は皆様のご意見をお聞きしながら、地域をそして集落を住みよくして行きたいと考えて活動して行きます。是非ご意見をお寄せください。

「何でもいいから、しゃべってみどごえ」